

# 令和3年度病害虫発生予察特殊報第1号

令和3年10月11日  
静岡県病害虫防除所長

- 1 病害虫名 病名：ブルーベリー類うどんこ病（仮称）  
病原菌：*Erysiphe elevata* (Burrill) U. Braun & S. Takamatsu
- 2 発生作物 ブルーベリー
- 3 発生経過
  - (1) 令和3年6月、静岡県西部地域のブルーベリー生産者から病害の診断依頼があり、果樹研究センターに持ち込まれたブルーベリーの葉には赤褐色の斑点と、白色粉状の菌叢が症状として認められた。病害虫防除所が現地ほ場を調査した結果、ブルーベリーの葉に同様の症状が発生していることを確認した。
  - (2) 現地ほ場で採取した罹病葉を名古屋植物防疫所に送付し、原因菌の同定を依頼したところ、*Erysiphe elevata* (図1、2) が分離され、本県未発生の病害であると判明した。
  - (3) 本菌によるブルーベリー類への病害は、令和3年3月の日本植物病理学会において「ブルーベリー類うどんこ病（仮称）」として提案されている。
- 4 発生状況  
本病は令和2年に長崎県で初めて発生が確認された。その後、東京都でも発生が確認されている。
- 5 病徴
  - (1) 罹病葉の表裏に白色粉状の菌叢を薄く形成する（図3、4）。
  - (2) 罹病葉には退緑や赤褐色の斑点が生じる（図5）。
  - (3) 枝、果実における症状は、現段階で認められていない。
- 6 防除対策
  - (1) ブルーベリーにおいて本病の登録農薬はないため、耕種的防除を行う。
  - (2) 罹病葉は除去し、ほ場内に放置せず埋却などをして適切に処分する（罹病樹の剪定枝なども同様）。



図1 分離された *Erysiphe elevata* の分生子柄と分生子<sup>1)</sup>



図2 分生子発芽管<sup>1)</sup>



図3 菌叢の生じた罹病葉



図4 葉面病斑上の菌叢<sup>1)</sup>



図5 葉表に生じた退緑、赤褐色斑点

1) 図1、2、4は農林水産省名古屋植物防疫所から提供。当該写真の無断転載を禁ずる。

問い合わせ先： 静岡県病虫害防除所 TEL. 0538-36-1543